

# 本州で自社外構システムを

## 付加価値のある性能を材工で

### ケーワンシステム

ケーワンシステム(札幌市、原田慶一社長)は、このほど東京事務所(東京都文京区)を開設した。同社独自のウッドデッキシステム「K-1デッキ」を東北・近畿地区で本格展開することが狙い。東京事務所の初年目標は完成工事高約8000万円(2017年6月期)とし、北海道地域でのデッキ施工と合わせ年間約4000平方メートル規模の施工に引き上げたい考えだ。

同社は北海道全域で脚を生かしたデッキ施工に二重床施工を主力に事業を展開し、2年前から万協の「万協フロア」施工実績を足掛かりに同社の屋外用支持

工に進出している。同社が考案したK-1デッキの underside は、万協フロアのスラブプロック仕様の屋外用支持脚と大引き鋼、根太鋼をベースとする。大引き鋼、根太鋼は日新製鋼製造で高い耐食性能を持ちガードレールなどに採用される「Z

AM鋼板」を仕様化し、案件ごとに自社加工を行う。仕上げには積水化学工業の人工木デッキ「アシエラウッド」のほか、要望に応じてムクも品ぞろえす

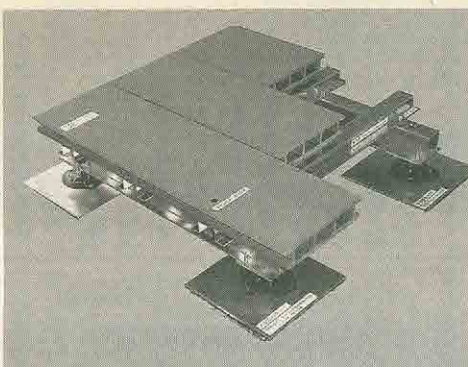
る。

K-1デッキ上部に設置できる屋上緑化ユニット「EGフロリーング MK-1」も併

せて提案。施工性の良さやデッキと交換可能な機構が特徴で、杉と松のバークを混合させた土壌の「Eソイル」を用いる。Eソイルは防虫や植物の健やかな生長、維持にも有効だ。

社長、社長代理の2人で東京事務所の運営に携わり、北海道地区と同じく材工受注を中心に取り組んでいく。関東地区では先行して施工実績もあり、技能者の派遣にも柔軟に対応するほかパートナー網の構築も検討する。「耐風圧、遮音やルー

「K-1デッキ」の構成例。施工性と維持管理の良さに優れるほか独自の緑化ユニット搭載も可能



バー、藤棚、スロープ 取り合って進めていきなど「対応できない物ない」(原田社長)。

件はない」対応力に加え、それを支える工法、施工技術を提案する。東京には当社が事務局を務める北海道万協会、メンバー企業の本社、事業所も多いので、手を



原田 社長